

---

## 本書の使い方

---

本書は前半でリスニングパート、後半でリーディングパートの練習をします。

### ●リスニングパート PART 1・2・3・4

PART 1は写真描写問題、PART 2は応答問題です。

まずは短い文で英語に耳を慣らす練習をしましょう。それぞれの問題傾向をおさえながら、現在進行形や疑問文のつくり方など基礎文法も確認します。

PART 3は会話文問題、PART 4は説明文問題です。

読まれる量とスピードが増すので、少し難しさを感じるかもしれませんがご安心を。ここでもよく出題される場面別の会話文や説明文を実際に聞きながら、問題解きにチャレンジしてみましょう。

どのパートも問題を解いた後は、繰り返し音声を聞いて、スクリプトで文字を確認してください。文字を見ながら一緒に音読するのもオススメです。

自分で「言える」ものは「聞ける」ようになるからです。

### ●リーディングパート PART 5・6・7

PART 5の短文穴埋め問題を使って、基礎文法の確認をします。

どれもTOEICで頻出の文法で、仕事で英語を使うときにも特に正確にしておきたいものばかりです。

#### 基本問題

文法の核を捉えるために、TOEICテストで出題される文より短くしました。

選択肢も4つではなく2つにしましたので、クイズ感覚でどうぞ。

#### 発展問題

実際のTOEICで出題されるような少し長めの文です。

実践練習も兼ねてチャレンジしてみてください。それぞれ解説と日本語訳を繰り返し読み込んで、出題傾向に慣れていきましょう。

※基本問題と発展問題には、読み上げ音声を付けました。

リスニングパート同様、音声と一緒に音読したり、書き取り練習をしたりすると、ただ読むだけよりもっと定着します。ぜひお試しあれ。

#### 例文で学ぼう

さらに文法の理解を深めましょう。例文の単語はどれも基本的な語彙でTOEIC頻出。実際の会話でもよく使うものばかりです。

PART 6は長文穴埋め問題、PART 7は長文速読問題です。

どちらも長文の種類別に出題していますので、それぞれの読み方や解き方に慣れる気持ちでトライしてみてください。少し文章量や単語量が増え、難易度が上がりますので、「ヒント求む!」という方は【日本語訳】と【頻出単語】を参考に。解き終わったら【解説と答え】で答え合わせおよび熟読を。

日常や仕事の場面で使える表現が多くありますので、「テスト問題」という視点だけではなく「いつか自分が使いそうな表現」を見つけるつもりで反復練習してみてください。

問題の合間でいくつか登場するコラムでは「解き方のススメ」などテスト本番に向けたアドバイスも書きました。どれも著者が実際にTOEICを解いてきて感じたことをまとめてあります。

そして巻末には復習にぜひ使っていただきたいおまけをつけました。

PART 1からPART 7まで、それぞれの項目から各5単語を厳選した【単語テスト】です。単語やフレーズの意味がパッと分かるかどうかチェックしましょう。

制限時間が非常に限られているTOEICでは、この「聞いた瞬間・見た瞬間、意味がパッと分かる」という状態にしておくことがとても大事です。単語を見て、もし「ええとー」と悩んだら、該当するページに戻って探しだし、意味の確認を。もちろんその場で辞書をチェックしてもOKです。「テキストに載っている単語、全て覚えたい!」という熱意溢れる方は、この【単語テスト】にどんどん追加して、「見た瞬間パッ」の練習を!

さらに別冊として、「ミニ模試」を付けました。

本書で解説している問題を抜粋して作成されています。本書解説を読む前にまず腕試しに解いてみるもよし、ひと通り解説を読んだ後、確認テストとして解いてみるもよし。本番をイメージしながらご活用ください。

問題数は、団体受験で受けられるオンライン試験とほぼ同じです。

# 1 名詞と前置詞

## TRACK 35

まずおさえておきたい英文法、それは「品詞」です。単語の「意味」ではなく、どの役割のグループに属するかを示すのが品詞です。その中でも相性のいいペア・名詞と前置詞をおさります。名詞は「ものやことの名前」、前置詞は「名詞の前に置いて時間や場所などを表す単語」です。

〔基本問題〕

The party was full of -----.

- (A) excite  
(B) excitement

ここがポイント! 空欄の前の of = 前置詞

前置詞は「名詞の前に置かれる」という役割を持ちます。この問題のように、前置詞の後に空欄がある場合、当てはまるのは名詞です。単語の語尾に -ment / -tion / -ce / -ness などがあれば、名詞の証! ですので、正解は(B) excitement。ちなみに(A)は動詞です。

【訳】そのパーティーは興奮に満ちていた。

【答】(B)

〔発展問題〕

At the monthly meeting, Mr. Newell announced that the project was scheduled for -----.

- (A) complete  
(B) completes  
(C) completed  
(D) completion

ここをチェック! 空欄の前 & 選択肢の語尾

「うわ、単語が難しい」「文が長い」と感じて、大丈夫! 注目すべきは文の単語の「並び順」と選択肢の「語尾」です。空欄の前に前置詞 for。ということで名詞を探しましょう。選択肢の語尾を慎重に見ていくと…あ、目印の語尾“-tion”を発見! (D)が正解ですね。

【訳】月例会議で、ニューエル氏はそのプロジェクトが完了予定だと発表した。

【答】(D)

## ☑ 例文で学ぼう!

▶ 前置詞の種類を把握しましょう。

例) at「～に・で」/ in「～の中に」/ on「～の上に」/ to「～に・へ」/ for「～のために」/ of「～の」/ with「～と一緒に」/ without「～なしで」など

※動詞とセットで使う前置詞は、それぞれ独特な意味を持つことがあるので、逐一訳し方を確認しましょう。例) look at「～を見る」・look for「～を探す」

※ただしtoに関しては「to + 動詞の原形」となることもあります。(20不定詞参照)

▶ 単語によってどんな語尾を付ければ名詞になるかチェックしましょう。

☆ permit (許可する) → permission (許可)

☆ allow (許可する) → allowance (許可)

☆ remove (取り去る) → removal (除去)

☆ argue (議論する) → argument (議論)

ここで一句

「前置詞の 後ろに名詞 セットです」

## 2 動詞：主語と動詞の一致

### TRACK 36

英語の「核」となる、メインキャラと呼んでもいい品詞「動詞」の登場です。動詞がないと文が完成しないほどの重要さ。それも主語になる名詞の後ろにすぐ登場。文の最後尾に動詞を置く日本語とのちがいの基だしいこと！主語によって動詞の形が変わるなんてさらに驚きです。

〔基本問題〕

Ms. Ota and her co-worker ----- Mexico every winter.

(A) visit

(B) visits

ここがポイント! 主語の数と動詞の形に注目!

空欄に入る動詞の前を見ると co-worker という単数です。主語が単数で現在形なら動詞に s を付けるという、「三単現の s」のルールをご存じの方も多いと思いますが、ちょっとお待ちを！この文の主語は、Ms. Ota and her co-worker なので、2人＝複数なのです。ということで、正解は (A) visit になります。

【訳】太田さんと彼女の同僚は毎年冬にメキシコを訪れる。

【答】(A)

〔発展問題〕

The number of the participants from Asian countries ----- 500.

(A) to exceed

(B) exceeding

(C) exceeds

(D) exceed

ここをチェック! 主語と動詞が離れていることもある!

「主語は動詞の前」と思って空欄の直前を見ると、countries で複数形になっていますね。が、しかーし！注目すべきなのは、先頭の単語 The number なのです。これに見合う動詞の形を探します。まず (A) to 不定詞と (B) ~ing は、文に必ず1つはなくてはいけない「述語動詞」にはならないので却下。残る (C) と (D) は主語の数で判断します。主語 The number は単数で、選択肢の動詞はどちらも現在形。ということは「三単現の s」のルール適用！正解は (C) exceeds です。

【訳】アジアの国々からの参加者数は500人を超える。

【答】(C)

☑ 例文で学ぼう!

▶ 主語の数と動詞：現在形の動詞の形は主語の数で決まります。

☆ Most employees in this company **are** satisfied with their work.

(この会社のほとんどの社員が自分の仕事に満足している)

☆ The research in these fields **shows** the importance of getting enough sleep.

(これらの分野での研究は、十分な睡眠を得ることの重要性を示している)

ここで一句

「<sup>エス</sup>s 付くの? 主語は何かを見極めて」